

教科等別年間指導計画

学年	2	教科 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していくと意欲と態度を養う。 ・対象を深く見つめる力、感性や発想する能力を伸ばす。 ・自然や美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。 					
教科	美術							
授業 方法 形態	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉授業 ・グループ授業 ・個別学習 	先生 から 一言	自分自身の発想を大切にしながら、粘り強く制作に取り組み、表現することの楽しさと喜びを味わいながら、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てよう。					
月	単元名	単元のねらい・内容		評価基準・方法等	総合的な学習・ことばの 教育環境教育・情報	時 数		
4	美術家は語る	<ul style="list-style-type: none"> ・新学年での学習意欲美術を学習する意欲を育てる。 ・それぞれの作家などの作品を通して学習姿勢を理解する。 ・それぞれの作品のよさを味わう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・意欲的な目標が持てる。 ・作者の心情や意図・表現の工夫、制作に対する姿勢などを理解することができる。 		2		
	西洋美術の歩み	<ul style="list-style-type: none"> ・原始からルネサンスまでにおける作家の活動を通して、人間と造形表現について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・原始からルネサンスの時代における作品に込めた思いを感じ取ることができる。 		2		
5	遠近法の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・遠近法や興行きの表現に関心をもつ。 ・遠近法の仕組みを生かして構想を練る。 ・いろいろな遠近法のよさを味わう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・遠近法に興味をもつことができる。 ・透視図法を理解することができる。 		2		
	風景をかこう (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象物を深く見つめ、感じとったことや考えたことを表現する。 ・遠近法を理解し、表現することができる。 ・塩化ビニール板にニードルを使用し、表現することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・対象を深く見つめ、それを基に表現することができる。 ・遠近法を理解し、描くことができる。 ・スクラッチ方法で、独創性のある表現ができる。 ・ガラスアートの色彩を工夫できる。 ・他の作品のよさを味わうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞において感じたことを文章で表現する。 	12		
6	伝達のデザイン 看板のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の関心のある職業から発想し、効果的な看板のデザインを考える。 ・レタリングの学習を通して文字による伝達の効果を考え、応用する。 ・色の効果やグレイ・ソリなどの色の整理から考えて、応用する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・文字のデザインや視覚伝達の表現に興味を持ち、独創的な表現をすることができる。 ・伝えたい内容が伝わるように構想を練り、訴える力のあるデザインをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習(職場体験) ・作品鑑賞において感じたことを文章で表現する。 	8		
7		彫刻 近代から現代	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻作家の活動を通して、人間の造形表現について考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻作家の作品に込めた思いを感じ取ることができる。 			1
9			抽象への道	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象表現に関心をもつ。 ・抽象表現の発想方法を学び、作品を構想する。 ・方法を工夫して抽象的に表現する。 ・抽象作品のよさや豊かさを味わう。 			<ul style="list-style-type: none"> ・抽象表現に関心をもち、発想し、工夫しながら、表現することができる。 ・発想を形にし、意図を強調しながら、思いを伝えられる作品をつくることができる。 ・抽象作品を鑑賞し、味わうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞において感じたことを文章で表現する。
3	美しい色や形を みつけよう	<ul style="list-style-type: none"> ・日本・西洋の模様に関心をもつ。 ・幾何学模様を考える。 ・色の効果を考え、独創性のある構成を考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・独創性のある構成を考えることができる。 ・用具を使用し、幾何学模様をデザインすることができる。 ・彩色し、さらに思いを伝える作品をつくることができる。 		3		